

報道関係者各位(参考情報)

2021年6月4日

大阪府に「免疫サポート」を寄贈

「免疫サポート」社会貢献プロジェクト

新型コロナ宿泊療養者の支援のため

株式会社ファンケルはこのほど、大阪府からの依頼に基づき機能性表示食品「免疫サポート」を3,000個寄贈しました。新型コロナウイルスに感染された方のために、大阪府が開設した15カ所の宿泊療養施設にお送りし、宿泊療養者の方の支援に役立てていただきます。大阪府からの支援依頼を受けて有識者で構成する「免疫サポート社会貢献評議会」に助言をいただき、寄贈を決めました。従業員一同、衷心より新型コロナウイルスに感染された方にお見舞い申し上げ、一刻も早いご快癒をご祈念申し上げます。

◆15カ所の宿泊療養施設に計3,000個を寄贈

大阪府では今年3月下旬から新型コロナウイルスの感染拡大が続き、感染された方の宿泊療養施設を15カ所開設して、最大1,800人を超える方の療養対応をされています。療養されている方の中には、発熱されている方も多く、そのために食事の摂取が難しい方もおられるとのことです。

こうした中、5月20日に大阪府から当社にサプリメントの支援依頼をいただきました。下記の「免疫サポート社会貢献評議会」からの助言(メンバーの方の経歴と本件寄贈へのコメントは別紙)などをいただき、「免疫サポート」(60粒:約30日分)を3,000個ご寄贈させていただくこととしました。製品は15カ所の宿泊療養施設向けに200個ずつ梱包し、5月24日付で発送いたしました。大阪府からは6月2日付で寄贈へのお礼状をいただきました。



免疫サポート
(60粒:約30日分)

◆「免疫機能を維持する」サプリメントで社会に貢献

「免疫サポート」(60粒:3,100円、14粒:790円<いずれも税込>)は「免疫機能を維持する」チュアブルタイプのサプリメントです。機能性関与成分である「プラズマ乳酸菌」のほか、必須栄養素のビタミンCやビタミンDなどを配合しています。当社ではこの「免疫サポート」を通じた社会貢献を行うため、今年4月に「免疫サポート社会貢献プロジェクト」を開始。同時に第三者機関として、医師や学識経験者、報道関係者で構成する「免疫サポート社会貢献評議会」を設置しました。これまでの取り組みは別紙にまとめております。

「免疫サポート社会貢献評議会」のメンバーとコメント（敬称略、五十音順）



大谷 泰夫 神奈川県立保健福祉大学理事長

1953年兵庫県生まれ。76年東京大学法学部卒。同年厚生省入省。医政局長、厚生労働審議官などを経て退官。14年第2次安倍政権において、内閣官房参与を務める。18年4月現職に就任。社会福祉法人日本保育協会理事長なども現任。神奈川県黒岩祐治知事が進める「未病」概念の提唱者。厚生労働省時代には新型インフルエンザ感染防止対策の指揮を担った。

コメント

コロナパンデミックの中で、本当に多くの方が苦しみ、さらに社会全体で耐え、そして数多の関係者の皆様がこれを支え続けています。感染症の治療は専ら公的医療の責任領域ですが、個人の備えは他力依存ばかりではありません。人体に備わった生体防御能力を自ら涵養して立ち向かうという意識も大切です。適切な食事と運動、睡眠を通じて、さらにはサプリメントの力を借りて免疫力を高めるという方法は、これまでの感染症対策ではあまり語られてきませんでした。この度の「免疫サポート」による患者支援は今回のコロナ禍だけに止まらず、将来の未病や予防医療の在り方にも繋がる着手の一石になりそうに思います。

西澤 真理子 リテラジヤパン代表

1968年東京都生まれ。91年上智大学外国語学部ドイツ語学科卒。英国ランカスター大学で環境政策修士号。インペリアル・カレッジ・ロンドンでリスク政策・リスクコミュニケーション博士号を取得。帰国後、厚生労働省薬事・食品衛生審議会委員などを務める。正確な知識を普及させて飲食の場で新型コロナウイルスの感染を防ぐため、感染症の専門医とともに「夜の街応援！プロジェクト」を実施中。



コメント

私の専門であるリスク管理の要点は、大きなリスクが潜むポイントに素早く介入して、小さなコストでリスクを低く抑える点です。今回、大阪府が新型コロナの療養者の方にサプリメントを提供し、栄養や健康状態を安定させ、健康意識も向上することで重症化を防ごうと考えたのは「質」の高い取り組みだと思います。大阪府からの依頼を受け、即座に対応したファンケルのスピード感も評価できると思います。



堀江 重郎 医師 日本抗加齢医学会理事長

1960年東京都生まれ。85年東京大学医学部卒。日米両国で医師免許を取得。03年帝京大学医学部主任教授に就任。12年より現職。日本初の男性外来、メンズヘルス外来を開設するなど、男性のアンチエイジングの日本における先駆的研究者であり、第一人者。19年から日本抗加齢医学会理事長を務める。著書やメディアでの論考も多数。

コメント

乳酸菌はこれまでも腸内細菌を整え、インフルエンザはじめウイルス感染症への抵抗力を高めることが示されています。わたしたちの腸で働く細菌のバランスが悪くなると、新型コロナウイルス感染が重症化するリスクが高まることもわかってきました。特に*L. lactis* strain Plasma菌（プラズマ乳酸菌）は免疫細胞を活性化することから、免疫力アップにつながることを期待されます。免疫に重要なビタミンB、C、Dも含んでいる「免疫サポート」をお勧めします。療養されている方に心よりお見舞い申し上げますと共に一日も早い回復を願っています。

松井 清人 前文藝春秋代表取締役社長

1950年東京都生まれ。74年東京教育大学（現：筑波大学）文学部卒。同年4月文藝春秋入社。週刊文春、文藝春秋編集長などを歴任し、14年同社代表取締役社長に就任。18年6月退任。著書にオウム真理教事件や少年A事件などの取材秘話をまとめた「異端者たちが時代をつくる」（プレジデント社刊）。



コメント

ご家族から離れた療養施設で、さぞや不安な毎日をお過ごしのことと思います。「免疫サポート」が皆さまの日々の不安を少しでも解消し、お気持ちの安定に役立つことを願っています。やまない雨はありません。明けない夜はありません。一日も早く、ご家族との平穏な日常が戻ってきますように。



森下 竜一 医師 大阪大学大学院寄付講座教授

1962年岡山県生まれ。87年大阪大学医学部卒、91年スタンフォード大学大学院に留学。帰国後、03年に大阪大学医学部大学院寄付講座教授に就任。99年には大学発のバイオベンチャー企業、アンジェスMGを起業する。13年内閣府規制改革会議委員、内閣官房健康医療戦略本部戦略参与。現在、国産の新型コロナウイルスワクチン、治療薬の開発に先駆的に取り組んでいる。

コメント

大阪府での新型コロナウイルス対策は急務で、多くの方がホテル療養を余儀なくされています。これからワクチン接種も進みますが、ワクチンによる抗体価上昇も体内の免疫システムが正常に維持されていることが重要です。そのような中で、ウイルスなど外的異物を排除する免疫システムはより重要になってきており、健康維持のために免疫を調整するプラズマ乳酸菌を活用していただきたいと思います。プラズマ乳酸菌で活性化するpDC細胞は、体内で最初の異物排除の免疫バリアである自然免疫とワクチンの作用である獲得免疫の両方の司令塔であり、免疫全体を調整できるので、免疫力アップにつながることを期待されます。ヒトでのエビデンスのある機能性表示食品のプラズマ乳酸菌は有望と考えます。

「免疫サポート」を通じたこれまでの社会貢献の取り組み

1. 読売ジャイアンツ・スポーツ健康検査センターに寄贈

2月22日(月)、読売巨人軍がキャンプ地である沖縄県那覇市に開設した「読売ジャイアンツ・スポーツ健康検査センター」に、「免疫サポート(60粒)」2,000個を寄贈いたしました。同センターは、読売巨人軍など沖縄県内でキャンプを実施する一般社団法人日本プロ野球機構の球団やJリーグのクラブ、報道陣などの方に、定期的にPCR検査を実施する目的で開設されました。寄贈は、PCR検査を受診した巨人軍の選手やスタッフの健康管理に役立てていただくために実施しました。



読売巨人軍 原辰徳監督

2. 湘南鎌倉医療大学の学生への寄贈

4月9日(金)、神奈川県鎌倉市にある湘南鎌倉医療大学の学生や職員などに「免疫サポート(60粒)」300個などを寄贈いたしました。

湘南鎌倉医療大学は、2020年に開校した看護師などを養成する大学です。コロナ禍の中、さらに社会のニーズが高まっている看護師の卵である約200人の学生などの健康を維持し、安心して学業に励んでいただくため、同製品を寄贈しました。あわせてグループ会社のアテナアの化粧品300個もお送りしました。



神代龍吉副学長(左2人目)と学生

3. 神奈川県看護連盟への寄贈

4月26日(月)、神奈川県横浜市の神奈川県看護連盟を通じ、神奈川県下で新型コロナウイルス患者の看護にあたる8つの病院の看護師など517人に、「免疫サポート(60粒)」517個とハンドケアアソートセット353個を寄贈しました。現場の最前線で働く看護師の方々の免疫維持と、手荒れのケアなどを目的に寄贈を行いました。



奥本信子会長(右)と弊社山本真帆SDGs推進室長

4. 医療従事者への寄贈

5月28日(金)、共同募金会を通じて、医療現場の最前線で新型コロナウイルス対策に尽力されている医療従事者の方々に「免疫サポート(60粒)」を5,000個寄贈しました。寄贈先は、聖霊病院(愛知県名古屋市)など全国の計44の医療機関です。当社が実施した投稿企画『～広げよう! エールの輪～ みんなで医療従事者の方々に「感謝」&「応援」メッセージを届けよう!』によるものです。本企画にご賛同いただいたお客様からお預かりしたメッセージとともに医療従事者の方々へお届けしました。

本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先

株式会社ファンケル 経営企画室 広報部

TEL:045-226-1230 FAX:045-226-1202 / <https://www.fancl.jp/>